

ヘルスケアの新たな地平

—スタートアップ、アカデミア、企業が拓く社会実装の最前線—

会 期 : 2026年10月7日 (水) 12:30~14:30

場 所 : パシフィコ横浜 Aホール A-12 JBAブース JBA Orange Square

BioJapanに出展するスタートアップを中心に、大学・研究機関、企業が最先端のヘルスケアイノベーションを紹介するプレゼンテーション。創薬・診断を支える基盤技術や抗体創製、AI・センシング、レンズレスイメージング、唾液によるがんリスク評価、感情評価システムなど、多彩なヘルスケア技術を取り上げる。予防・未病から診断・治療、創薬まで、社会実装が進む最新の取り組みを紹介するとともに、医療系大学連合medU-netとの連携により、アカデミアとスタートアップが共創するヘルスケアイノベーションの最前線をお届けする。

- 12:30~12:40 「難培養微生物の培養技術が切り開く次世代創薬・ヘルスケア」
高田 雅親氏 (株)村田製作所
- 12:40~12:50 「人に寄り添う機器/サービスを実現:リストバンド感情可視化技術」
南 重信氏 ((株)ミルウス 代表取締役)
- 12:50~13:00 「顕微鏡の常識を変えるレンズレスイメージング」
池田 わたる氏 ((株)IDDK 最高科学責任者)
- 13:00~13:10 「唾液によるがんリスク評価」
殿塚 悠平氏 ((株)サリバテック 営業部 係長)
- 13:10~13:20 「独自のin vitro抗体創製プラットフォームによるVHH抗体HTSとヘルスケア領域応用」
新井 秀直氏 ((株)Epsilon Molecular Engineering 事業開発部 営業管理課長)
- 13:20~13:30 「次世代抗体技術が拓くヘルスケアイノベーション
~Ecobody技術®による高性能抗体の迅速取得と
診断・治療への展開~」 (仮題)
天草 陽氏 (iBody株式会社 代表取締役 CEO)
- 13:30~13:45 「不溶化したアミロイド様凝集タンパク質への新規溶媒」
大島 達也 教授 (宮崎大学工学教育研究部化学生命プログラム)
- 13:45~14:00 「アルファ線治療を牽引するアスタチン化学のノウハウ (仮題)」
高橋 和弘 教授 (福島県立医科大学先端臨床研究センター)
- 14:00~14:15 「“液体の中に描く”新しいバイオフィアブリケーション技術」
— 液体描画による生体機能の空間設計 —
田中 祐圭 准教授 (東京科学大学 物質理工学院 応用化学系)
- 14:15~14:30 「再発転移の芽となる治療抵抗性がん幹細胞を根治する」
後藤 典子 教授 (金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態研究分野)